

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-509735 (P2005-509735A)

【公表日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-015

【出願番号】特願 2003-545885 (P2003-545885)

【国際特許分類】

C 0 9 B 57/00 (2006.01)

D 0 6 L 3/12 (2006.01)

D 2 1 H 21/30 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 57/00 W

D 0 6 L 3/12

D 2 1 H 21/30

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 20 日 (2005.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

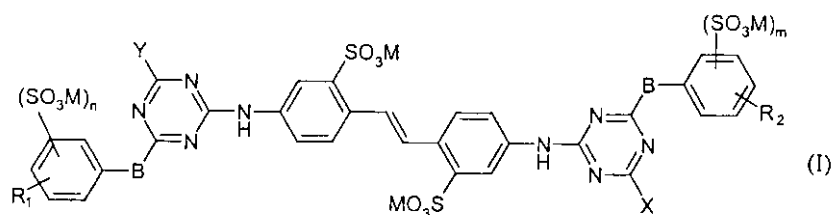
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (I)

【化 1】



(式中、 R_1 及び R_2 は互いに独立に H、ハロゲン、未置換 C_{1-6} アルキル、置換 C_{1-6} アルキル又は C_{1-6} アルコキシであり、

各 B は互いに独立に - O - 又は - NR_3 - であり、

R_3 は H、未置換 C_{1-4} アルキル又は置換 C_{1-4} アルキルであり、

X はハロゲンであり、

Y はハロゲン、 OR_4 、 SR_4 又は NR_4R_5 であり、ここで、

R_4 は未置換 C_{1-6} アルキル、置換 C_{1-6} アルキル、未置換フェニル又は置換フェニルであり、

R_5 は H、未置換 C_{1-6} アルキル又は置換 C_{1-6} アルキルであり、又は、

R_4 及び R_5 はそれらが結合した窒素原子と一緒にピロリジニル、ピペリジニル又はモルホリニル基を形成し、

n 及び m は互いに独立に 0、1 又は 2 であり、

各 M はカチオンである) の化合物又はその混合物の蛍光増白剤としての使用。

【請求項 2】

R_1 及び R_2 は互いに独立に H、Cl、F、未置換 C_{1-2} アルキル、置換 C_{1-2} アルキル又は C_{1-2} アルコキシであり、

各 B は互いに独立に -O- 又は -NR₃- であり、

R_3 は H、未置換 C_{1-2} アルキル又は置換 C_{1-2} アルキルであり、

X は F 又は Cl であり、

Y は Cl、F、OR₄、SR₄ 又は NR₄R₅ であり、ここで、

R_4 は未置換 C_{1-6} アルキル、置換 C_{1-6} アルキル、未置換フェニル又は置換フェニルであり、

R_5 は H、未置換 C_{1-6} アルキル又は置換 C_{1-6} アルキルであり、又は、

R_4 及び R_5 はそれらが結合した窒素原子と一緒にピロリジニル、ピペリジニル又はモルホリニル基を形成し、

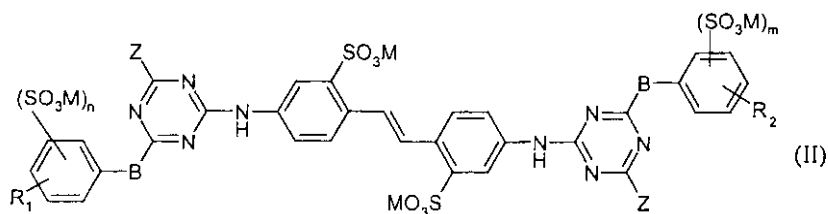
n 及び m は互いに独立に 0、1 又は 2 であり、

各 M はカチオンである) の式 (I) の化合物又はその混合物が使用される、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】

下記式 (II)

【化 2】



(式中、 R_1 、 R_2 、B、m、n 及び M は請求項 1 又は 2 に規定されるとおりであり、Z は OR₄、SR₄ 又は NR₄R₅ であり、 R_4 及び R_5 は請求項 1 又は 2 に規定されるとおりである) の少なくとも 1 種の化合物と、式 (I) の少なくとも 1 種の化合物との混合物が使用される請求項 1 又は 2 記載の使用。

【請求項 4】

混合物が 2 wt % ~ 95 wt % の式 (I) の化合物、及び、98 wt % ~ 5 wt % の式 (II) の化合物を含む、請求項 3 記載の使用。

【請求項 5】

混合物が 5 wt % ~ 80 wt % の式 (I) の化合物、及び、95 wt % ~ 20 wt % の式 (II) の化合物を含む、請求項 3 記載の使用。

【請求項 6】

天然及び再生セルロース繊維、天然及び合成ポリアミド及びポリウレタン繊維、テキスタイル及び紙が増白される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 7】

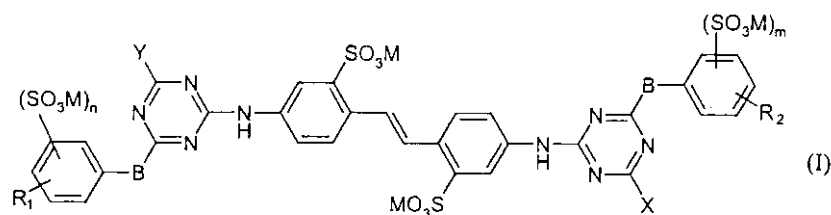
紙が増白される、請求項 7 記載の使用。

【請求項 8】

2 wt % ~ 95 wt % の式 (I) の化合物、及び、98 wt % ~ 5 wt % の式 (II) の化合物を含む混合物であって、

式 (I) は

【化 3】



(式中、 R_1 及び R_2 は互いに独立に H、ハロゲン、未置換 C_{1-6} アルキル、置換 C_{1-6} アルキル又は C_{1-6} アルコキシであり、

各 B は互いに独立に $-O-$ 又は $-NR_3-$ であり、

R_3 は H、未置換 C_{1-4} アルキル又は置換 C_{1-4} アルキルであり、

X はハロゲンであり、

Y はハロゲン、 OR_4 、 SR_4 又は NR_4R_5 であり、ここで、

R_4 は未置換 C_{1-6} アルキル、置換 C_{1-6} アルキル、未置換フェニル又は置換フェニルであり、

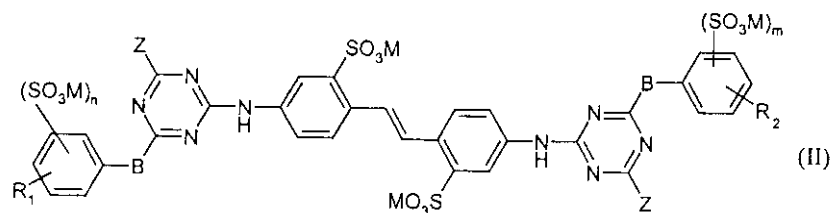
R_5 は H、未置換 C_{1-6} アルキル又は置換 C_{1-6} アルキルであり、又は、

R_4 及び R_5 はそれらが結合した窒素原子と一緒にピロリジニル、ピペリジニル又はモルホリニル基を形成し、

n 及び m は互いに独立に 0、1 又は 2 であり、

各 M はカチオンである) であり、そして式 (II) は

【化 4】



(式中、 R_1 、 R_2 、B、m、n 及び M は上記に規定されるとおりであり、Z は OR_4 、 SR_4 又は NR_4R_5 であり、 R_4 及び R_5 は上記に規定されるとおりである) である、混合物。

【請求項 9】

5 wt % ~ 80 wt % の式 (I) の化合物、及び、95 wt % ~ 20 wt % の式 (II) の化合物を含む、請求項 8 記載の混合物。